

無

意根大橋

自然のパノラマを楽しむ曲線橋

Muine Ohashi Bridge 1968

無意根大橋は、半径140mの急なヘアピンカーブの先端に架かる曲線橋である。谷底から約35mの高さに位置し、橋上からは雄大な自然を一望できる。定山溪国道では、北海道で初めてクロソイド曲線が採用され、自然なカーブによって安全な走行を可能とする道路線形が実現した。自然豊かな溪谷の中で、土木技術と景観が見事に調和した構造物である。



【建設年代・変遷】

- 1968年(昭和43年) ●2000年(平成12年):改修(補強対策)
- 2007年(平成19年):改修(防護柵更新)

【建造物の特徴】

- 規模:全長239m ●構造:5径間連続曲線鋼箱桁形式 ●橋脚:円形鋼製橋脚
- 基礎:井筒基礎

